

# 北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第11号

平成22年(2010年)12月発行



## 『すみだ』と『北斎』 — 北斎の描いた

### 『すみだ』⑤ —

北斎が為一と名乗っていた六十歳代〜七十歳代中ごろの作品で、区内にある寺院の一つである法泉寺(東向島三丁目)への参詣客の様子を描いた摺物です。摺物とは販売する目的ではなく、狂歌師などが仲間配るために絵師に注文して作成した私家版の版画のことです。

門をくぐる二人の男性と、荷物持ちの小僧を連れた女性二人が話しながら法泉寺へ入ろうとしています。向かって右の石柱には「新田義貞公守本尊髻不動明王寺寫法泉寺」とあり、これによって法泉寺を描いたものであることがわかります。法泉寺は、源頼朝の挙兵に従った葛西清重が両親の菩提を弔うために建立したといわれ、新田

義貞が守本尊としての髻(髪)を頭の上に集めて束ねた所に納めていた一寸(約三センチメートル)ほどの念持仏の不動尊を安置する寺として有名でした。幟や左の石柱

に「開運金勢大明神」とあります。作品の上部に描かれている狂歌に「金勢へ春はまふ(詣)てよ縁遠きおとこ(男)女の中むすふ(結ぶ)神」とあるので、この金勢

大明神は男女の縁結びの神であったと思われまふ。

江戸時代の

史料で法泉寺を調べると、髻不動や葛西清重についての記述はありますが、金勢大明神を祀っていたことを示す文献はありません。本作品以外に江戸時代の法泉寺を描いたものは、現在のところわかっておらず、寺の歴史的資料としても重要です。また、本作品は、墨田区所蔵のピーター・モースコレクション以外の所在は知られていない唯一のもので、墨田区指定有形文化財となっています。



摺物「寺島法泉寺詣」(墨田区所蔵ピーター・モース コレクション)

【発行】  
墨田区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎ 03-5608-6115  
【編集協力】  
(財)墨田区文化振興財団  
北斎担当

DVD「墨田区所蔵 ピーター・モースコレクション」



このDVDは、ピーター・モース コレクションの代表作品をじっくり鑑賞していただくとともに、コレクションの特徴や、北斎研究における重要性を知っていただけのような内容としています。

◆シンプルで上質な演出

状態の良い作品をじっくりご覧いただくために、過度の演出を避け、落ち着いた表現としています。

◆コレクションの重要性をひもとく

代表的作品を掘り下げて紹介し、コレクションの特徴と北斎研究における重要性を解説しています。

◆ピーター・モース氏の人物像を紹介

モース氏本人の言葉を通して、モース氏の人物像や北斎への思いに迫ります。

これまで墨田区では、「北斎の世界」、「北斎のまなざし」すみを描く」という二本の映像作品を制作し、北斎とすみだのかかわりや、北斎の生き方、作品の魅力などについて、分かりやすく紹介してきました。第三作目となる「墨田区所蔵 ピーター・モース コレクション」では、すみだ北斎美術館のコレクションの基盤をなす「ピーター・モース コレクション」に焦点を当て、コレクションの特色や、収蔵されている優品の数々を、落ち着いた雰囲気で紹介します。

【墨田区所蔵 ピーター・モースコレクション】について

収録時間 十七分

対応言語 日本語・英語

※区立図書館や文化振興課北斎美術館開設担当で貸出しを行っています。

【問い合わせ】

墨田区区民活動推進部

文化振興課北斎美術館開設担当

☎03・5608・6115

ピーター・モース コレクション 主な所蔵作品



新板浮絵三囲牛御前両社之図



富嶽三十六景 武州玉川

北斎生誕二五〇年記念展覧会を開催

二〇一〇年は、北斎がすみだの地に生まれて二五〇年という節目の年です。墨田区では、これを記念して、区所蔵作品による展覧会を開催します。

この展覧会は、現在建設中の東京スカイツリーにちなみ、高所から見た風景をテーマに開催します。展示作品は、良好な保存状態や、希少性などの面で定評がある「ピーター・モースコレクション」を中心に六十点余り。北斎が描いた大パノラマをぜひご覧ください。

【会期】

平成二十三年三月十三日(日)～二十九日(火) 午前九時三十分～午後六時(金曜日は午後七時三十分まで)

【会場】

すみだリバーサイドホール ギャラリー (墨田区役所内)

【入場料】

一般五〇〇円(前売り 四〇〇円)、中学生以下及び六十五歳以上は無料。 ※チケットの販売開始は、平成二十三年一月以降の予定。

【問い合わせ】

北斎生誕二五〇年記念展覧会実行委員会事務局 (文化振興課北斎美術館開設担当内)

☎03・5608・6115